

海の叫び魚（うおーーーー！）を展示しています

みなさんは海のゴミはどこからやってきているのか、知っていますか？

そのゴミの約8割は街からやってきます。

街で捨てられたゴミは排水溝から川に、やがて海にたどり着いたゴミがマイクロプラスチックとなり、多くの魚や海鳥が食べてしまっているのです。

海のゴミをなくすためには、街をキレイにしなければならないことを多くの方たちに知ってもらい、次の世代に海の環境をいい形で残し引き継ぎたいという思いから、つるの剛士氏のデザインを基に“NPO法人海さくら”と“日本財団”が製作した高さおよそ2.2mの2匹の魚のオブジェを、アイクルに展示しています。



2050年には、マイクロプラスチックの数が魚の数より多くなるという危機

「海のピンチは街が救う」

多くの方々のご来館をお待ちしています。

期 間 令和2年3月1日(日)から令和3年9月30日(木)まで
※休館日を除く

時 間 8時30分から17時まで

場 所 横須賀市リサイクルプラザ“アイクル”1階エントランスホール
(横須賀市浦郷町5丁目 2,931 番地)

連絡先 046-866-1196

